



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成20年11月11日

環境大臣 齊藤 鉄夫 殿

ダイキン工業株式会社
代表取締役会長兼CEO

井上 礼之

ダイキングループは、空調機器とその冷媒であるフルオロカーボンを開発・生産する世界唯一のメーカーとして、地球温暖化防止への取り組みを最重要課題と捉え、環境対策でも世界トップレベルを目指し、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減を推進します。

- 生産時の温室効果ガス(CO₂、HFC、PFC)のグループ総排出量(国外分も含む)を、2010年度までにCO₂換算で140万トン以下に削減(2005年度比で50%以上削減)します。特に、国内のフッ素化学工場におけるHFC及びPFC排出量については、2010年度に15万トン以下(2005年度比90%以上削減)とすることを目指します。

2. 地球温暖化防止に貢献する商品の開発及び普及を推進します。

- 消費電力削減効果の高いインバータ商品の全世界への普及を促進します。
 - 中国市場等の家庭用空調機市場にインバータ機を投入し、2012年度には2007年度比倍増の普及を目指します。
 - 大型空調機市場においても、高効率空冷ヒートポンプチラーや大容量ターボ冷凍機などのインバータ搭載高効率機を展開します。
 - 日本で普及が進みつつあるハイブリッド油圧商品の中国、米国、欧州での普及を促進します。
- 既存の燃焼式よりもエネルギー効率の高いヒートポンプ式暖房・給湯商品を、各地域の特性に合わせて開発、普及させます。
- 自然冷媒(CO₂)給湯機、コンビニ用空調・冷蔵・冷凍一体システムなどのヒートポンプ商品の普及を促進します。
- 空調設備遠隔監視システムの活用による省エネソリューション事業をグローバルに展開します。
- 自動車燃料チューブ向けフッ素樹脂や遮熱塗料などの環境に貢献するフッ素製品の普及を促進します。
- 自然冷媒(CO₂)空調機の開発に加えて、温暖化係数の小さい冷媒の探索とそれを用いた空調機を開発します。

3. 冷媒回収・破壊の推進により、生産時から廃棄時に至るまで冷媒漏洩を極小化します。

- 空調機ガス検査のヘリウム化等により生産工程での冷媒漏洩を極小化します。
- 国内のお客様からの依頼によるフルオロカーボン回収を24時間・365日体制で受け付けるとともに、回収破壊管理システムの導入による回収量の確実な把握により、2010年度に回収率90%以上を目指します。
- 海外の全サービス拠点に冷媒回収装置を配備し、修理時等における冷媒回収の徹底に努めます。

4. 化学物質の管理を徹底し、排出量を削減します。

- 日本国内におけるPRTR対象物質排出量を、2010年度までに2005年度比50%削減します。
- フッ素製品に含まれるPFOA(パーフルオロオクタン酸)を、2009年度に2000年度比95%削減、2012年度までに全廃します。

ダイキングループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省への報告及びCSR報告書による公表を行います。

